



International Geography
Olympiad 2023 **Bandung**



地理オリンピックに ようこそ!

国際地理オリンピック
日本委員会公式サイト

<https://japan-igeo.com/>

[第17回] 科学地理オリンピック日本選手権 および

[第19回] 国際地理オリンピック日本代表選抜大会



主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、一般社団法人 人文地理学会、東北地理学会、地理科学学会、立命館地理学会、公益社団法人 東京地学協会、
一般社団法人 日本地図センター、一般財団法人 地図情報センター、日本地図学会、一般社団法人 地理情報システム学会、経済地理学会、地域地理科学会

協賛：帝国書院、二宮書店、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル ジオグラフィック、スポーツショップ クラブライフ湘南

国際地理オリンピックは 「地理力」競う

地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU(国際地理学連合)の総会(プラハ:チェコ)で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、17回の世界大会と3回の地域大会(アジア・太平洋地域)が行われました。そして2023年にはバンドン(インドネシア)で第19回国際地理オリンピックiGeo Bandung 2023が行われます。

国際地理オリンピック(世界大会)

第1回大会	1996年	ハーグ:オランダ
第2回大会	1998年	リスボン:ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル:韓国
第4回大会	2002年	ダーバン:南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グディニア:ポーランド
第6回大会	2006年	ブリズベン:オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ:チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ:台湾
第9回大会	2012年	ケルン:ドイツ
第10回大会	2013年	京都:日本
第11回大会	2014年	クラクフ:ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ:ロシア
第13回大会	2016年	北京:中国
第14回大会	2017年	ベオグラード:セルビア
第15回大会	2018年	ケベック:カナダ
第16回大会	2019年	香港:中国
第17回大会	2020年	イスタンブール:トルコ(中止)
第17回大会	2021年	イスタンブール:トルコ(オンライン開催)
第18回大会	2022年	パリ:フランス(オンライン開催)

地域地理オリンピック(地域大会)

第1回大会	2007年	シンチュー:台湾
第2回大会	2009年	つくば:日本
第3回大会	2011年	メリダ:メキシコ

国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

◆記述式テスト(WRT)

さまざまな地理的な事象や地域の課題についての問いに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

◆マルチメディアテスト(MMT)

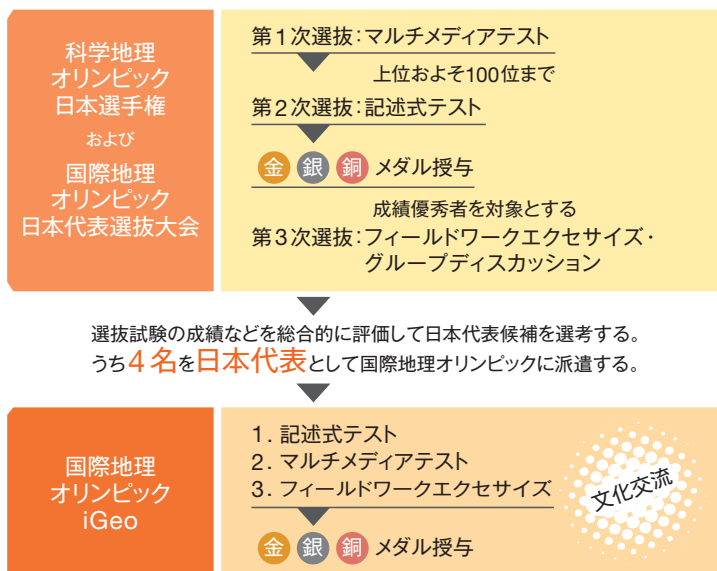
地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な事象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

◆フィールドワークエクセサイズ(FWE)

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な事象や地域のようす、観察できる景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問題で求められていることを的確に表現しなければなりません。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック(世界大会)ではすべて英語で出題され、英語での解答が必要です。(辞書の持ち込みは可)そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国の学生や先生と交流することも大切な目的の一つです。世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは「地理オリンピック」ならではの国際理解です。



◆ 募集要項

参加資格

2022年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手(4名)は、2023年6月末の時点で16歳～19歳の者から選出されます。

※高校・高専3年生および中等教育学校6年生は、第1次・第2次選抜試験までの国内大会には参加できますが、世界大会代表の選抜対象にはなりません。

選抜について

■第1次選抜 2022年12月10日(土)

会場：オンライン受験のため会場は設けません。

方法：マルチメディアテスト

スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は50分です。

選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

受験上の注意：第1次選抜では、配信された問題を見て、オンラインで解答する方法をとります。

詳細は受験票に掲載します。スマートフォンでも受験可能ですが、問題の性質上、比較的画面の大きいタブレットもしくはPCを使って受験することをお勧めします。本委員会では機器の貸し出し等は致しません。なお、学校管理者の了承があり、担当の先生が責任を持って試験を実施していただける場合は、学校のコンピュータ教室等で受験することも可能です。担当の先生に問い合わせてください。

■第2次選抜 2023年2月19日(日)

会場：東京・大阪など全国9カ所程度を予定。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては、オンラインで実施する可能性があります。

方法：記述式テスト

地図・資料などの読解を中心にした記述式テスト。問題の約2割は英語による出題で、辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は120分です。

選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績上位(約10名)が第3次選抜試験に進むことができます。(世界大会出場資格がない者は3次選抜試験の対象になりません。)テストの結果は、後日、個人宛てに通知します。

■第3次選抜 2023年3月11日(土)～12日(日)

会場：関東地方で実施予定。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては、オンラインで実施する可能性があります。

内容：フィールドワークエクセサイズ・グループディスカッション

フィールドワークエクセサイズ：フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。グループディスカッション：地理に関連したテーマについて議論。

選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、2023年8月上旬(予定)にバンドン(インドネシア)で開催予定の第19回国際地理オリンピックに派遣します。

問題について

過去の問題の一部は、国際地理オリンピック日本委員会のWebページ(<https://japan-igeo.com>)で閲覧することができます。『地理オリンピックへの招待—公式ガイドブック・問題集—』(古今書院)も参考にしてください。

参加申込みについて

申込期間：2022年9月1日(木)
～11月15日(火)23:59まで

申込み方法：WEBエントリー

申込み専用ページ(<https://contest-kyotsu.com>)からWEBでエントリーします。個人で申し込む「個人申込み」と学校ごとに団体で申し込む「学校申込み」があります。なお、いずれの場合も応募にあたっては保護者の同意が必要です。WEBエントリーでは保護者同意欄にチェックを忘れないようにお願いします。

「個人申込み」

申込み専用ページから各自WEBエントリーしてください。

「学校申込み」

学校で一括して申し込むことができます。在籍する学校の担当の先生に相談してください。

〈担当する先生へのお願い〉

担当する先生がWEB申込専用ページ(<https://contest-kyotsu.com>)にアクセスし、参加者情報入力シートに記入の上、アップロードしてください。なお、学校のコンピュータ教室等でまとめて受験させる場合で、会場の使用許可が必要な場合は事務局にお申し出ください。

大会参加費等について

大会参加費は無料です。

ただし、コンピュータ等の機材や通信費等は受験者の負担となります。

国際地理オリンピックは大学の総合選抜型入試(AO入試)等の特別入試の対象です。

科学地理オリンピックで日本代表として選抜された者あるいは日本国内で行われる代表者選考等で一定の成績を収めた者を、特別入試の対象としている大学があります。

【受験に際しての注意事項】

- 第1次試験はComputer Based Testing(CBT、コンピュータとインターネットを用いた試験形式)ですが、あくまでも通常の試験会場で行われる試験と同様の条件で行われます。
- 自身の周辺に置いて良いものは、計算用紙、鉛筆がシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、紙媒体の英和・和英辞典です。
- 解答時に参考となる教科書・参考書・辞書類の使用は認められません。問題の解答を他者に相談・聞くなど、他の人に助けを求める行いも禁止です。
- 試験中にWebを通じた検索や、試験中でのSNSを介した他者との連絡など、インターネットを本来の試験の意図から外れて使用することは不正行為となります。
- 受験上の不正行為が発覚した場合、第17回科学地理オリンピック日本選手権の参加資格・権利の全てを失います。
- 試験開始にあたり、不正防止に関する宣誓をして頂きます。
- なお、第2次試験、第3次試験がオンラインで行われる場合も同様です。

WEB申し込み専用ホームページ

<https://contest-kyotsu.com>

参加申し込みに関するお問い合わせは

☎ 科学オリンピック共通事務局へ

・TEL 042-646-6220(平日12:00～13:00/17:00～19:00)
・E-mail info@contest-kyotsu.com

個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会(以下、「主催者」といふ)が主催しています。ご提供いただく個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

1. 個人情報の収集目的について

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」においては、参加申込みに際して提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

2. 個人情報の第三者への提供・預託について

・ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権

および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供するにあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。

3. 個人情報の業務委託について

主催者は「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報がご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

5. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。国際地理オリンピック日本委員会実行委員会

実行委員長 井田 仁康
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会
事務局局長 滝沢 由美子

6. 個人情報に関するお問い合わせについて

ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
公益社団法人 日本地理学会 事務局 貸付
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会 事務局
E-mail: geolympiad@ajg.or.jp



第19回 国際地理オリンピック iGeo Bandung 2023

会期 2023年8月上旬(予定)

会場 バンドン(インドネシア)およびその周辺



地理オリンピック ガールズトーク

Girl's Talk

「地理オリンピック」って男だらけ？ そんなことはありません。世界では女子選手が活躍しています。世界大会出場のOG2人と引率教員2人が、オンラインで国際地理オリンピック大会について語り合いました。

飯田 菜未さん(茨城県立土浦第一高等学校出身、東京大学在学中、2019年香港大会出場)

平賀 美沙さん(桜蔭高等学校出身、東京大学・同大学院卒、大手建設会社で土木技術者として活躍中、2013年京都大会出場)

井上 明日香先生(神奈川県立希望ヶ丘高等学校教諭、2019年香港大会ほか引率教員)

林 靖子先生(獨協埼玉中学高等学校教諭、2021年イスタンブール大会(オンライン開催)ほか引率教員)



林：はじめに、飯田さんと平賀さんが、国内選考を受験したきっかけを教えてくださいませんか？

飯田：もともと地理がすごく好きというわけではなかったのですが、高校の時の担任の先生が地理の先生で、その先生に薦められました。

平賀：高校の地理の授業が面白くて、それで自分でいろいろ勉強をしているうちに、この大会のことを知り受験しました。

林：どのような対策をして国内・世界大会に臨みましたか？

飯田：地理の問題集や日々の授業を大事にしていました。世界大会に向けては、強化研修会で多くを学びました。

平賀：私は理系ですが、地理の大学入試問題を解くほかに、図書室で地形図や都市地理学の本など、フィールドワークに活かせるものを借りて読んでいました。世界大会に向けては、英語の単語を自分でまとめたり、強化研修会でいただいた本を読んだりしていました。



林：世界大会では、他国の女子選手とどのような交流がありましたか？

飯田：大会中、香港とルーマニアの選手と相部屋で、お土産の交換をしました。

平賀：私は台湾の選手と同室でした。お互いメダルを獲得して、抱き合って喜んだ思い出があります。シンガポールの選手とは、大会後、私がシンガポールに行った時に案内をしてくれて、彼女が日本に来た時は、私が案内をしました。



井上：今の生活で、地理オリンピックの経験が役立っていると思うことはありますか？

飯田：世界大会に行って、地理により興味を持ちましたし、自分の英語力をもっと磨かなきゃと思ったので、今、大学の授業で地理や英語に関するものを履修しています。江戸時代の名所を文献から調べてまとめる授業では、ここはこういう地形だからこういう建物なのかなとか、地理学的な視点で考えることができています。



平賀：大学では土木学科に入り、授業の中で地形図をみて歴史を考えるとということが求められましたが、地理オリンピックのおかげで、私はそれが得意な方で良かったです。また、旅行に行っても、この道は昔からあるのかななど、今見えているものの背景を考えながら歩くことができて、その基礎は地理オリンピックを通して学んだことにあとだと思います。

井上：やったことが活きているのは、私たちスタッフも嬉しいです。

林：最後に、これから地理オリンピックを受験しようとしている女子中高生へメッセージをお願いします。

飯田：地理に限らず科学オリンピックは、男子が多いイメージかもしれませんが、気負わずに受けてほしいなと思います。世界大会に行くと、4人中全員女子という国もあるので、皆さんにチャレンジしてもらいたいです。女子ならではの視点というの、大事だと思います。

平賀：気軽に楽しく受けて良いと思います。代表にならなくても、試験を通して身につけたことをいかして、地理をいかした仕事に携わる人が増えるといいなと思います。

井上：国内選考は、女子の受験者が少ないので、積極的に受験してほしいですね。



テストの様子(京都大会より)



記述式テスト



国際大会では英語で解答します



フィールドワークテスト



現地での景観観察



観察事項をまとめる



現地での課題説明

科学地理オリンピック(国際地理オリンピック)の国内選抜試験で出題された問題を紹介します

マルチメディアテスト(MMT)

第1次選抜試験 問題例



次のオランダ・キンデルダイクに設置されている風車の羽根は、どれもほぼ同じ方角に向いている。その方角を1つ選べ。

- ①東
- ②西
- ③南
- ④北

解答②

世界遺産にも指定されているキンデルダイクの風車群。オランダは偏西風帯にあり西風が卓越する。風車は、ボルダーと呼ばれる干拓地で排水用に利用されてきた。キンデルダイクとは「子供」の「堤防」という意味。

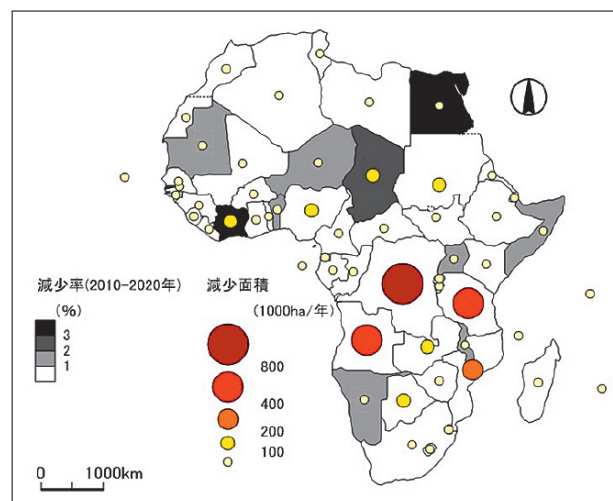
記述式テスト(WRT)

第2次選抜試験 問題例

図より、ヒカリさんは森林減少率が大きい国と減少面積が広い国とでは分布に違いがあることに気が付いた。気候区分に着目し、分布の違いを説明しなさい。

解答例

(もともと森林面積の少ない)乾燥帯には減少率が大きい国が多く、(熱帯雨林の破壊が進む)熱帯には減少面積が広い国が多い。





2021年8月に
「イスタンブール(オンライン)で」
行われました

第17回 国際地理オリンピック iGeo Istanbul 2021

代表選手・引率教員からのメッセージ

世界大会はテストではありません。
ポスタープレゼンテーションや文化交流・エキスカーション
など多彩なプログラムが用意されています。

今、これを読んでいる君に聞きたい。君の「好き」と「得意」は何だ？
—— 地図か？絶景か？旅行か？都会か？田舎か？鉄道か？歴史か？政
治か？経済か？食事が？空か？土か？生物か？物理か？英語か？美術
か？—— 結論から言おう、何だっていい。全ては地理に揃っている。

調子に乗って決め台詞のようなことを口走りましたが、これは決して
嘘ではありません。地球物理から伝統文化を経て現代政治に至るまで、
時と場所を超えて存在する「私」と「世界」のつながり、その全てが「地
理」と呼ばれるのです。地理オリでは、学校の授業では味わいきれない
地理の真髄を、思う存分感じることが出来ます。

その君！君の「好き」と「得意」を武器に、日本で、そして世界で闘
てみたいとは思わないか？。

日本代表選手 乙川文隆(新潟県立新潟高等学校3年)

バンドンという地名から君は何を思い浮かべるだろうか。バンドン会
議、「ジャワのバリ」、インドネシア高速鉄道、スダグ海溝等々。これら
の単語をもっと発展させてみよう。例えばスダグ海溝、プレートテクト
ニクスにまで話を広げて世界のプレート分布を調べてみてほしい。
視点を小さくしてグーグル翻訳を駆使することでインドネシア沿岸部
の津波対策を理解してみてもいい。そこから日本国内のプレート境界
や防災について学んでもいい。このように縦横無尽に人間と自然、日
本と世界の間を飛び回り、土地を通じて実は相互に深く関連している
事柄の関係性を理解すること、それが地理学の最大の魅力だと思う。
地理オリンピックはそんな地理学の祭典だ。生徒の皆さんの挑戦を心
待ちにしている。

日本代表選手 片山大誠(筑波大学附属駒場高等学校2年)

国内大会を初めて受けた中1の時はまさかこのような所まで来ると
は思ってもみませんでした。地理オリで重要なのはマニアックな知識の
多さではありません。地域を観察したり想像をふくらませたりして、自
分の知識を最大限に活かしながら世界を捉えていくのが醍醐味です。
今回はオンラインで開催され残念ながら優れた世界中の代表選手と
直で会えることはできませんでしたが、彼らとの交流の中で英語をツ
ールとして運用する能力の重要性を身に染みて実感しました。地理オリ
で学んだことはあまりに多く、何物にも代えがたい経験です。地理を面
白い！楽しいかも？と思う人は、気軽に地理オリを受けてみてください！
様々な出会いがあなたを待っているはずです！

日本代表選手 金澤政恵(智辯学園和歌山高等学校3年)

手を動かさない。それが「地理オリンピック」に向けての勉強の特徴で
す。勉強方法として、地理の本や資料集を読んだり、歩いたりするこ
とがありますが、どれも鉛筆を動かしたりするような活動ではありません。
高度な概念を理解する必要は無く、計算することはありませんし、
高校地理の範囲をあまり超越しません。しかし、地理オリンピック試
験対策はあまり面白くないでしょう。むしろ、試験のための勉強ではな
く、learning for the sake of learning、すなわち、地理を楽しむ
ための勉強をおすすめします。地理を勉強することで、新しい知識を
得て、人生を豊かにできたら十分です。地理オリンピックを、地理を
勉強するためのツール(モチベーション維持や、問題を解くことで誤解
に気づく)として利用してください。

日本代表選手 中森 遼(灘高等学校3年)



試験中の様子



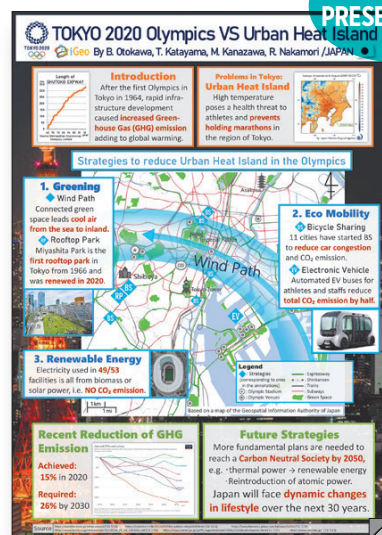
ポスタープレゼンテーションの裏側



金メダル発表の瞬間



開会式後



COVID-19のパンデミック下で開催されたイスタンブール大会
は、地理オリンピック史上初のオンライン開催となりました。さま
ざまな制限や不安があった中で、Team JAPANは国別順位・世界
第3位という歴代最上位の成績で大会を終えました。どのような状
況下でも、他者を理解し、環境に順応し、互いに高めあい世界と
戦った選手4人を誇りに思います。また、国内選考においても、初
のオンライン開催となりましたが、PCの画面を通して、たくさんの地
理好きの皆さんの頑張りをみることができました。これを読んでいる
生徒の皆さん、そして学校の先生方、今年もたくさんのご応募お待
ちしています。

日本代表引率教員 林 靖子(獨協埼玉中学高等学校)

2022(令和4)年4月入学の高校生から、すべての生徒が新科
目「地理総合」を学ぶことになりました。これは、地理に対する社
会の期待が高まってきているあらわれといえます。もちろん、地理
を学ぶみなさんに対する期待も同様です。

地理を学ぶことを通して、日本や世界に対する理解を深め、
日々さまざまな地域で起こる問題や課題に対して主体的に考え、
地図を用いて分析し、解決のために自分はどういう行動できる
のか。このような姿勢を身につけることが一人ひとりに求められて
います。じつは、国際大会である地理オリンピックで試されるチカ
ラも、同じものなのです。

このパンフレットを手にとったみなさん、地理で学んだ知識やス
キルをいかして、地理オリンピックに挑戦してみませんか。

日本代表引率教員 中村光貴(筑波大学附属高等学校)